

開倫塾の夏期講習会に参加の中3受験生の皆様にお伝えしたいこと

開倫塾
塾長 林明夫

1. <ごあいさつ>

開倫塾の創業者であり責任者である、塾長の林明夫です。本日から、開倫塾の2015年度夏期講習会がスタートいたしますので、塾生の皆様へ一言ご挨拶（あいさつ）いたします。

2. <「塾生」>

(1) 開倫塾は「塾」でありますので、開倫塾で学ぶ皆様を「塾生」とお呼びします。ご承知おきください。皆様は全員、今日から開倫塾の「塾生」です。

(2) 「塾生」である中学校3年生の皆様に、最初にお伝えしたいことは何か。それは、「自分は来年高考入試を受験する受験生だ」ということを、自分自身に十分に言い聞かせていただきたいということです。つまり、「受験生としての自覚」を持っていただきたいということです。

3. <「受験生としての自覚」を持つ具体的方法>

(1) 「受験生としての自覚」を持つためにはどうしたらよいか。

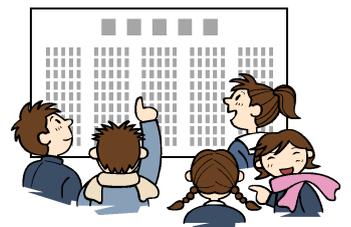
(2) どこの高校に入学したいのか、進学希望校をはっきり決めること。

(3) その高校に入学して何がしたいのか、その高校に入学したい理由をはっきり考えること。

(4) 高校を卒業してどうしたいのか、大学などに進学したいのか、それとも仕事に就きたいのかを考えること。

(5) 高校や大学などを卒業して、どのような仕事や社会的な活動をしたいのか、どのような生き方をしたいのかを考えること。

(6) 少しずつでよいですから、受験勉強をしながら、このようなことを自分の力で考えてくださいね。



4. <「読解力」と「語彙力」アップを>

(1) 受験勉強で一番大切なのは、先ほどお伝えした「受験生としての自覚」ですが、次に大切なのは、「読解力」、つまり、「試験問題の全文を試験時間内に正確に読み解き、正解を導き出す力」です。

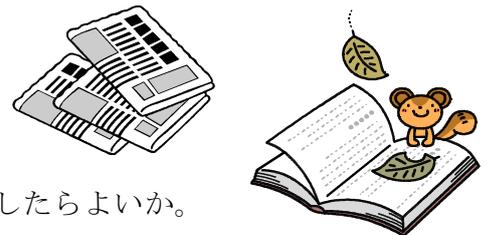
(2) また、「語彙(ごい)力」、つまり、「自分が知っていることばの数が多いこと」も大切です。

(3) 来春、皆様を受験する高校入試の各教科の試験問題として出題される問題の「本文」、「設問」、「選択肢」は、全教科ともかなりの分量です。

(4) 50分間という決められた試験時間内に、試験問題のすべてを正確に読み解き、正解を導き出すには、「読解力」があると同時に「語彙力」があり、よくわからないことばの数が少なければ少ないほどよいといえます。

5. <「読解力アップ」の具体的方法>

- (1) 受験生である塾生の皆様に、7月25日から10月24日までの3か月間に是非取り組んでほしいのが、「読解力アップ」のために、毎日30分以上「読書」をする(本を読む)ことと、毎日30分以上「新聞」を読むことです。
 - (2) 「3か月間、読書」と「新聞」各々に1日30分以上取り組むことで、「読解力」は飛躍的に向上します。
 - (3) 試験の問題文を正確に読み解くスピードがどんどん速くなりますので、考えさせられる難しい問題を時間をかけてゆっくりと解く「時間的なゆとり」が生まれます。
 - (4) 実は、偏差値50、60、70壁は「読解力アップ」で乗り越えられるのです。受験生ほど、「読書」と「新聞」が役に立ちます。
 - (5) 入学試験の当日まで「読書」と「新聞」に取り組んでください。頭がさえわたり、高得点が期待できます。
 - (6) 「読書」をしていて気に入ったことばや文章があったら、「書き抜き読書ノート」にたとえ一文字、一行でもよいので、書き写し、繰り返し読み直すことをお勧めします。
 - (7) 「新聞」を読んでいて興味・関心がある記事があったら、ハサミで切り抜いて「スクラップブック」に貼り付け、繰り返し読み直すことをお勧めします。
- 以上が「読解力アップ」の具体的方法です。



6. <「語彙力アップ」の具体的方法>

- (1) 「語彙力」アップ、知っていることばの数を増やすにはどうしたらよいか。
 - (2) 学校の教科書や教材、開倫塾のテキストや教材、本や新聞を読んでいて、少しでもわからないことばがあったら「気持ちが悪い」と思い、辞書を引いてことばの意味を確かめることに尽きます。
 - (3) 辞書を引いたら、その意味をノートに必ず書き写し、その場で覚える。
 - (4) 意味調べをしたノートは、絶えず1ページ目から読み返す。
 - (5) 家庭ではできるだけ紙の辞書、携帯用には電子辞書と使い分けることをお勧めします。
 - (6) 辞書は、引いて、引いて、引きまくる。ボロボロになるまで、背表紙が壊れるくらいまで引きまくる。一度使った辞書は自分の体の一部と同じですから、大切にしておくこと。
 - (7) ①「国語辞典」、②「漢字辞典」、③「古語辞典」、④「英和辞典」、⑤「英英辞典」などの「辞書」は「武士の刀と同じ」、勉強をする時に絶対に必要なもの。ですから、この5冊の辞書は必ず机の上に置いていつでも取り出せるようにしておくこと。
- 以上が「語彙力アップ」の具体的方法です。



7. <「定着力」とは>

- (1) 受験勉強で「読解力」「語彙力」に続いて3番目に大切なのは、「定着力」です。
- (2) 「定着力」とは、一度学んだことをスミからスミまで正確に一語残らず身に着けること、覚えることです。

8. <定着力アップの具体的方法>

(1) 授業ノートも含め、学校の教科書や開倫塾のテキスト、教材、問題集、業者模試の問題、一度解いた問題、入試の過去問など、一度学んだ内容はその日のうちに必ずもう一度読み直す、問題は解き直す。

(2) 授業の直前に、前回までのテキストやノート、問題集などをザーッと読み直す。

(3) 大切なところは

①「音読練習」(スラスラとよく読めるようになるまで声を出して繰り返し読む練習)

②「書き取り練習」(楷書で正確に書けるようになるまで書き取りを繰り返す練習)

③「計算・問題練習」(計算や問題を見た瞬間にパツ、パツ、パツと条件反射で答えが出るまで何回も解く練習)

この①～③を開倫塾では「定着のための3大練習」と名付け、塾生の皆様に、効果の上がる勉強方法の一つとしてご紹介しています。

(4) よく「理解」できた・わかっていると思っていることでも、正確に言えない、書けない、計算や問題が解けない、つまり、学んだ知識があやふやで正確に身に着いていないと、試験ではよい点数が取れません。ですから、「定着力」は偏差値の大幅アップに欠かせません。

以上が「定着力アップ」の具体的方法です。



9. <「長時間自己学習」の勧め>

(1) 「読書」と「新聞」を活用した「読解力アップ」、「辞書」を活用した「語彙力アップ」、「定着のための3大練習」を活用した「定着力アップ」を、7月25日から10月24日までの3か月間確実に行えば行うほど、受験生の皆様の偏差値は5以上、10以上、15以上と大幅に上昇します。

(2) ただし、実際に行なっていただければすぐにわかりますが、偏差値はどんどん上昇しますが、いくら時間があっても足りないくらい時間がかかります。

(3) そこで大切になるのが、「長時間自己学習」です。受験生は、生活に必要な時間以外は机に向かうことをお願いいたします。ルールを守る塾生の皆様の、開倫塾の空いている机で「長時間自己学習」をすることを許可していますので、必要な方は校長先生や担当の先生にご相談ください。以上が「長時間自己学習」の具体的方法です。

10. <おわりに>

(1) これから3か月の間が勝負です。受験生に休日はありません。ひたすら勉強の毎日を送り、自分の力で自分の未来を切り開いてください。

(2) これから3か月の間に皆様の校舎を訪問し、効果の上がる受験勉強の仕方を直接お話ししたいと思います。皆様とお会いし、いろいろなお話をお聞きし、質問もお受けしたいと思います。

(3) 最後に、中学生のときに柔道部の先生から教えていただいた私の好きなことばをご紹介します。「練習で泣いて、試合で笑え」です。

毎日の練習は結構厳しいものでした。受験勉強は部活動と同じだと思いました。部活動は練習すればするほど強くなり、受験勉強はすればするほどよくわかるようになったからです。

頑張ってください。



以上
(宇都宮大学大学院工学研究科 客員教授)
作新学院大学 客員教授